

製品名	一般名称	色	艶	ホルムアルデヒド放散等級
キクスイロイヤルアリガード	ポリマーセメント系基礎巾木用防蟻塗材	6色	—	F☆☆☆☆

標準施工仕様書

工程	材料・調合	施工用具・条件	塗回数	間隔時間(20℃)	所要量
事前処理	基礎巾木にクラックが発生している場合は、事前にリカットシールで補修をする。*				
前準備	基礎巾木が直接地面に接している場合は、基礎巾木周りの地面を掘り下げて、基礎立ち上がり面を全て露出させ、付着した土を完全に除去し、乾燥した清浄な面とする。				
下地調整	白華物、ホコリ、油脂分などの付着物を、ワイヤーブラシ、かわすき、サンドペーパー、ウエス、高圧洗浄などで除去し、乾燥した清浄な面とする。セメント系下地調整塗材（BR-CL等）を用い、段差修正や大きな巣穴を補修し、フラットな面とする。				
下塗り	キクスイロイヤルアリガード 主材 : 16kg 混和液 : 12kg 清水 : 0.8~1.2L	ウールローラー 刷毛など	1	1以上	56~93㎡/セット 0.3~0.5kg/㎡
主材塗り	キクスイロイヤルアリガード 主材 : 16kg 混和液 : 12kg 清水 : 0.8~1.2L	多孔質ローラー	1	16以上	28~40㎡/セット 0.7~1.0kg/㎡

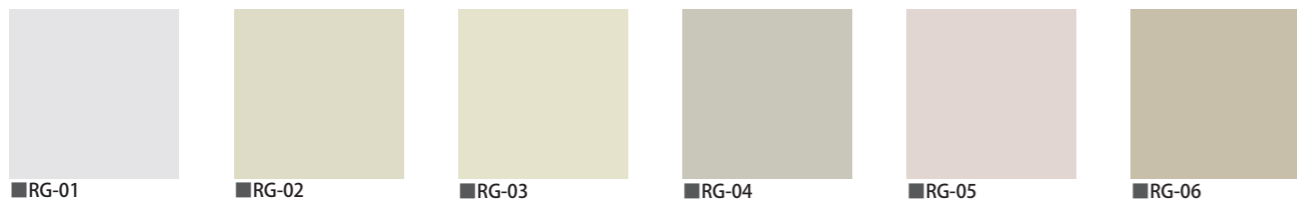
*基礎巾木そのものの構造強度に影響を及ぼす程のクラックの場合は、基礎巾木の構造強度を復旧させてから施工してください。

注1 施工用具・条件は代表的なものです。

注2 間隔時間・所要量の値は標準的なものです。施工方法・器具、被塗物の形状、素地の状態、施工条件により各々多少の幅を生じることがあります。

注3 凸部処理は、凸部処理仕様の場合のみ行なってください。

カラーバリエーション



※このカラーサンプルはイメージにつき、実際の色とは多少異なりますので予めご了承ください。

【塗装イメージ】



用途・適応下地

建物の基礎（モルタル、コンクリートなど）

荷姿

キクスイロイヤルアリガード 主材 16kg/袋
混和液 12kg/缶



注意点

掲載製品を取り扱う際は、各製品のSDS及び標準施工仕様書、注意事項を守って施工してください。
※上記の各種製品データは、kikusuiダウンロードサイト（『キクスイダウンロードサイト』を検索）でご確認ください。



菊水化学工業株式会社

本社/名古屋市中区錦2丁目19番25号 日本生命広小路ビル
☎052-300-2222(代)

ホームページ <https://www.kikusui-chem.co.jp/>



仙台支店 ☎022-706-5710 関西支店 ☎06-7668-5320
東京支店 ☎03-3981-2500 福岡支店 ☎092-935-4610
名古屋支店 ☎0568-69-5200



ROYAL SELECTION

キクスイロイヤルセレクション

ワンランク上のプレミアムな仕上がり！！

ポリマーセメント系基礎巾木用防蟻塗材

F☆☆☆☆
NSK-1602029

キクスイロイヤルアリガード

シロアリ対策を兼ねた住宅の基礎用仕上塗材です。

微弾性により、基礎巾木のひび割れにも柔軟に追従します。

中性化抑止効果もあるので躯体の長寿命化にも役立ちます。

6色から選べますので住宅の足元から美観を演出できます。

色は選べる6色

キクスイロイヤルアリガードを塗装することで

シロアリ防除

+

ひび割れ抑止

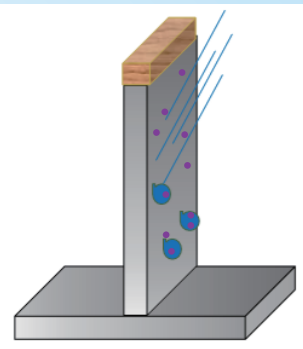
中性化抑止



住宅基礎・躯体の長寿命化に繋がります!

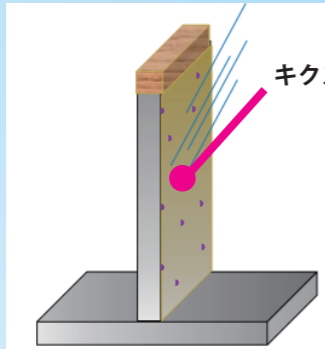
シロアリ防除剤を複合した塗材

[従来散布型]



散布型だと雨水で流出しやすい!

[塗材複合型]



塗材に複合されているので雨が降っても大丈夫。効果が持続します。

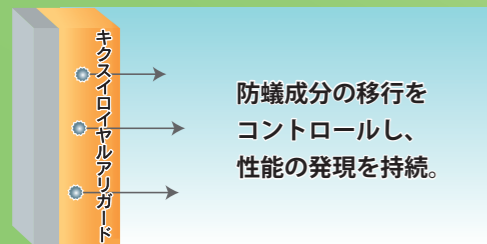
キクスイロイヤルアリガード

散布型ではなく塗材複合型なので防蟻成分が流れ落ちない。

**キクスイ
超技術**

ボラティルコントロール技術

マイクロボイド（ミクロン単位の微小な穴）による防蟻効果をコントロール。



防蟻成分の移行をコントロールし、性能の発現を持続。

防蟻成分の表面にミクロな穴が開いているので、性能の発揮と持続性の両立を可能にしました。

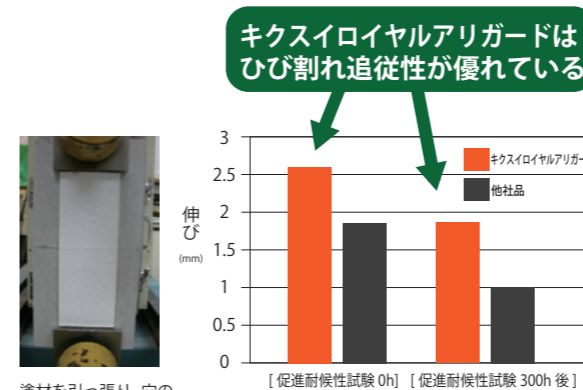
防蟻薬剤の安全性について

防蟻薬剤は、人や動物に対して毒性が低いとされており、世界 100 か国以上で農薬としても使用されています。

(一般家庭ではシロアリ駆除、ペットのシラミ、ノミ取り、ゴキブリ駆除、スプレー殺虫剤等)

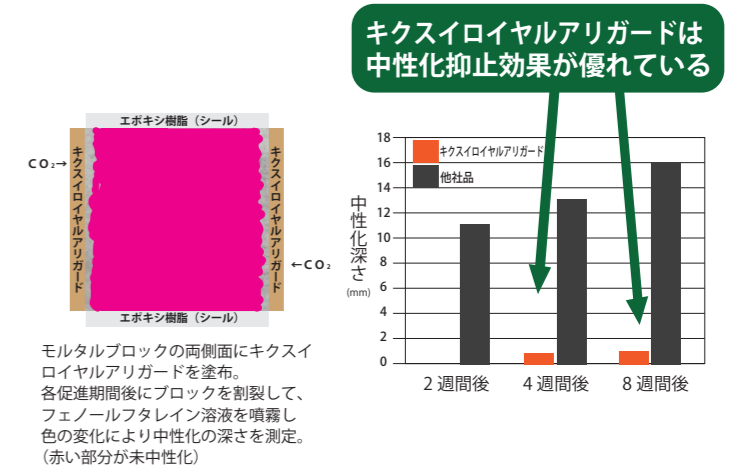
塗膜性能試験

①コンクリートひび割れ追従性試験



塗材を引っ張り、穴の破断が生じるまでの伸び量を測定。

②コンクリート中性化抑制効果試験



モルタルブロックの両側面にキクスイロイヤルアリガードを塗布。各促進期間後にブロックを割裂して、フェノールフタレイン溶液を噴霧し色の変化により中性化の深さを測定。(赤い部分が未中性化)

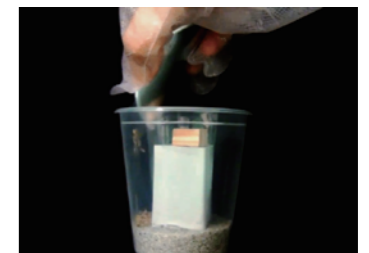
コンクリート這い上がり試験

【試験方法】

無塗装のコンクリートとキクスイロイヤルアリガードを塗装したコンクリートが入っている容器に同量のイエシロアリを入れる。コンクリートの上には木片を置いた。2時間後、24時間後の各容器のアリの活動状況を確認した。



①シロアリ計量 (150 頭ずつ)



②容器の中へシロアリ投入



ほとんど動かない

活発に行動!

③ 2時間経過後

④ 24時間後試験終了
キクスイロイヤルアリガードを塗装した方は全頭駆除を確認。

サンプル	苦死虫率 (%)		
	30分後	5時間後	24時間後
一般基礎塗材	0	0	0
キクスイロイヤルアリガード	90	95	全頭死亡

